

職員から二人目の新型コロナウイルス感染症が発生したことのお知らせ（第2報）

令和2年12月28日

新型コロナウイルス感染症への罹患が判明した病棟看護師は、感染のリスクをとまなうような行動歴がなかったことから、感染経路不明となりました。

そこで院内で感染したのではないことを明らかにするため、12月25日に当該看護師が勤務していた病棟の、既にPCR検査を実施した5名の非濃厚接触者を除く、その他の患者全員と看護師等23名の高感度抗原定量検査を行いました。検査が34名全員が陰性でした。検査が未実施の看護師等12名も、12月28日に高感度抗原定量検査を行い、全員が陰性でした。

なお、第1報にある既に退院されていた（非濃厚）接触者の患者さんについては、25日にPCR検査を受けていただき、陰性でした。

院内感染が発生する際には凡そ半数が接触後5日以内に発症するとのことです。本日が5日目ですが、今のところ当該看護師が勤務していた病棟で、発熱、上気道炎症状等の体調不良を起こした患者さん、医療従事者はいません。

以上のことから、当該看護師は院外で感染した可能性が高いと考えています。また、濃厚接触者がいないことから院内感染が発生する可能性は低いと予想しています。

潜伏期間は長いと14日とされていますので、残る9日間、体調不良者が発生しないことを慎重に見守ってまいります。

三宿病院長